

適切な感染防止対策

目的	具体的な取組例
発熱者等の施設への入場防止	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従業員の検温・体調確認を行い、37.5度以上や体調不良の従業員の出勤を停止 ・ 来訪者の検温・体調確認を行い、37.5度以上や体調不良の来訪者の入場を制限
3つの「密」（密閉・密集・密接）の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・ 店舗利用者の入場制限、行列を作らないための工夫や列間隔の確保（約2m間隔の確保） ・ 換気を行う（可能であれば2つの方向の窓を同時に開ける） ・ 密集する会議の中止（対面による会議を避け、電話会議やビデオ会議を利用）
飛沫感染、接触感染の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従業員のマスク着用、手指の消毒、咳エチケット、手洗いの励行 ・ 来訪者の入店時等における手指の消毒、咳エチケット、手洗いの励行 ・ 店舗・事務所内の定期的な消毒
移動時における感染の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・ ラッシュ対策（時差出勤、自家用車・自転車・徒歩等による出勤の推進） ・ 従業員数の出勤数の制限（テレワーク等による在宅勤務の実施等） ・ 出張の中止（電話会議やビデオ会議などを活用）、来訪者数の制限